

「大人の夢」

かつて私が子供のころ、歌手になりたい！とか作家になりたいとか！漠然と考えていたものです。そのころから模索し一つ出せた答えは、夢とは現実にする事だ！しかし現実にするとは？

私はシンガーソングライターでヴォーカルクリエイターとして長年沢山の方の歌をみてまいりました。歌が上手いとは？というテーマは今も様々な問いかけをしていますが案外深いお話となっていくます。私の教え方の特徴として自分が現役で活動していたときかなり困惑・模索して自分である事のパーソナリティーが迷子になってしまうほどに思っていた時に、全く自分と関係ないと思っていた歌が上手に歌えない方を指導するという事に会い、まさかの自分の探していた事に気づく出来事に会えました。それは、自分と全く関係ない！と思っている事自体が知らない間に関係ないイコール馬鹿にしているという事にになってしまっている、そう気付いたのです。

私は自分だけにとどまらず自分のやりたいと思っている信念自体本当にそう思っているのだろうか？と自問自答していた日々があり、そうこれでいいんだ！良かったんだ！と言い聞かせていた逃げセリフを吐いていたように思います。ただ私は自分と向き合う事ができる事に会える事があれば変わる！などと言っていることが他力本願であることに気付いてはいました。しかし自身が向かうことでさえまるで人のせいなようになってしまっていたあの時。結局なぜそのようなどうにも前に進まないジレンマに陥るかという、本当は私たちは自分の生まれてきた意味！までは分からなくても自分の生まれ此処にいるという価値を自分で自分が知りたいのだ！そういう事を誰かに言ってもらうのではなく自分で分かりたいのだ！という事そのものであると後に実感しました。

それは音楽だけではなく憧れるそれらは色々な方のそれを思う姿勢、基本的に歌手になりたいと思う理由の根底に音楽をどういうものと捉えているのか？によってその方が身につけようとすればするほどそのことを自分のために使おうと思っても憧れている歌手をどんなに真似ても身に付かない、まさに身につけるのではなくそれに成る、そういった超絶シンプルに好き！でないとわからないことと少々複雑な思考回路に関係することを知りました。

歌を歌うとその方の時間とお金の考え方がもろに出ます。それは価値観というのが正しいようにも思えます。考え方そのものををを変えるのではなくそれらの意味を知っていけば思いつきや誰かの意見ではなくなっていくます。歌を指導する上でその方の感じ方が発動することすなわち音程を発音する時にどういう聞方をしてどう発音しているのか？というところと聴覚で起こる様々なことをしっかり理解して本人の感覚で納得するところまで本人が自分の肉体の構造とコミュニケーションをとることが大切です。音程に自分の声を合わせる、それは難しいことではなく当たり前すぎるほどの当たり前な自分のわかっていないようなことをしっかり確認していくこととなります。

さて、ではどうするのか？音程に合わせるドレミファソラシドに声を合わせていくトレーニングをや

っていきます。英語や日本語他言語の発音も関係あります。日本人の発音の問題としては言語の音立てや一度に発音する音の数音節など、に多言語を持たないとある一つの Kategorie でしか理解できない音。すなわち発音できないイコール聞こえていないことが多々あったりします。また腹式呼吸と関係があって普段の発音が身体と合っていないなくても話せる言語である。私たちはオギャッと生まれた時にその能力を持っていますが環境とともに退化していってしまう、その発音能力も目覚めるよう音程や発音の言語になる以前の音を分解し発音練習をしていくと、すでにわかっている！知っている！と思いついてる考え方は知らないことがある！ということに繋がっていかないと理解できないことや発音できないことがあり理解できれば多々できるようになるということを知ることができます。そしてその都度わからないイコールわかりたくないと自分で決めてることだ（そんな気がないが）と気付いていきます。

そして理解そのものは我々の三半規管、それは平衡感覚を司り内耳で起こりうる聴覚上の鼓膜から脳に送られる電気信号のスピードやサイクルは私たちが意思を持ってコントロールすることではなくその機能そのもの即ち私たちが自分自身の肉体の機能が自分の頭で理解していることよりはるかに優秀であることを知りその感覚を尊重することが最も大切であることを知っていきます。自分の声を音の高さやその長さ発音に合わせていくとそのやり方がはっきり見えてきます。

そしてその方が発音する時に肉体の重力をどこをどのようにかけているか？と思考回路になかなかの関係があって一口にいうと考えてもいなかった自分の感覚や可能性に気づいていきます。

単純に突然ベラボーに歌がうまくなる！というより自分がどこをどう使っていてどうしたらよいか！に気付いていけるこの方法は是非皆様にも見ていただき体感していただいて自分自身の大きな可能性を心から信じていける私はそのことをお伝えしたいです。

もっと言うとプロで活躍されている方でも迷子な方はいらっしゃいます。

私は大人になってからの夢とは？自分の人生の真ん中にいる自分自身を自分がはっきりと自覚して自分自身が自分自身でいいとはっきりとわかって生きていけることではないか？と私は思っています。

もちろん全部の方がそうであれとは申しませんが、私のように長年模索し現在私でいい！私がいい！と胸を張って言える（それは何かがすごく立派だ！というのではなく）そういう人生の主演を堂々と歩いていける。歌を歌うことは声を音程に合わせてたり他の音とハーモニーを合わせたりすることで己のちっぽけさと同時にたくさんのことに繋がり生かされていることそして自分の出来ることがまだまだ沢山あることを理解できる「実感出来る人生」になります。実際には練習するやり方を是非見ていただき聞いていただきたいのですが。簡単であることとは？馬鹿にせずしっかり見て体感していくマインドの方にある、そして私たちはこの肉体をもって生きている。頭と心と肉体の三位一体で音を発すること「歌う」こととは我々に多くの気づきをもたらす思いもよらない日常の中にたくさんの奇跡

と可能性があることを教えてください。

話は難しくなっていると思われるかもしれませんが、もし一つ言える事があるとすれば私はよく子供に「初めて話の通じる大人にあった！と言われます。

難しいということは本人が理解できないということで。本人が理解しやすい言葉に訳していくそういった事が出来る音楽、歌う、声を音に合わせる、という事が私たちに教えてくれる事は多くまた突然現れるビッグスターも自分と同じ人間であるという事。そして才能というのは人より多く持っているのではなく自分の中にある事を分けて多くにしてその組み合わせを理解していく事である。

歌を歌う事を理解していく事はまさに自分の夢を叶える事である。大人になってこそ叶えられる夢私は心から伝えたいし、是非皆様にその詳しくを歌っていきたいです。

皆様是非興味を持ってはっきりとした自分自身になっていったらみませんか？